

2024年8月18日（日）第二礼拝「靈的權威の回復」創世記1章28節

神様はアダムとエバを造られて、彼らを祝福し權威を授けてくださいました。それは海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配する權威であり、病、地震、飢饉、戦争、貧困などを支配し治めることのできる最高の權威でした。

第一番目、靈的權威が奪われました。アダムとエバはサタンの誘惑によって善悪の知識の木の実を食べてしまい、サタンに靈的權威〔国々のいっさいの権力と栄光(ルカ4:6)〕を奪われてしまいました。この權威は元々アダムに与えられたものでしたが、罪によって墮落したためサタンに奪われてしまったのです。その結果、地にはいばらとあざみが生えるようになり、人は苦勞して食を得なければならず、死んでちに帰る運命となりました。一方、蛇は一生腹ばいで歩き、ちりを食べる運命となりました。この「ちり」とは、聖靈から離れた人間のことであり、サタンはその人間を支配する(ちりを食べる)ようになったのです。

第二番目、靈的權威の回復です。「おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」(創世記3:15)「おまえ」とはサタン、「女の子孫」「彼」とはイエス・キリストです。サタンに奪われた權威を奪い返すために、イエス様が人となってこの世に来られました。私たち人間は父親のいる男の子孫ですが、女の子孫は御靈からお生まれになったイエス様だけです。イエス様は私たちの罪をすべて背負って十字架で死なれ、蛇の頭(死)を打ち砕き、蛇の持つ權威を奪い返してくださいました。イエス様には天においても、地においても、いっさいの權威が与えられています。そして、私たちにも敵のあらゆる力に打ち勝つ權威を与えてくださいました。この權威を授けてくださった方は世の終わりまで私たちと共におられます。「確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ權威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。」(ルカ10:19)

第三番目、サタンはイエス様に奪われた權威を取り戻すために、私たちの靈的權威を狙っています。サタンに隙を与えてはいけません。罪を犯してはいけません。神様の權威で戦いに勝利していたダビデでしたが、ウリヤの妻バテ・シェバと不倫して妊娠させ、隠ぺいのためにウリヤを戦場で殺しました。預言者ナタンによる罪の指摘でダビデは即座に悔い改め、神様の赦しを受けましたが、敵に大いにあなどりを与えました。生まれてくる子は死に、更に息子アムノンが妹タマルを犯してしまい、タマルの兄アブサロムはアムノンを殺します。そのアブサロムは父ダビデに反逆して將軍ヨアブに殺されます。一つの罪から三人の者が命を落としました。女性を見て情欲を抱くなら姦淫したことと同じです。兄弟を憎むなら殺人の罪と同じです。イエス様は四十日断食の後サタンの誘惑を受けましたが、御言葉によって打ち勝ちました。小さな罪から大きな罪へと発展していかないように、私たちはいつも聖靈充滿でなければなりません。罪を犯したなら早い段階で悔い改めが必要です。いつも聖書を読み、祈り、聖靈に満たされ、靈的權威を持ってこの地を治めていきましょう。アーメン！